

(公財) 福岡県産業・科学技術振興財団
令和4年度 ロボット・デジタル化関連製品開発支援事業

公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団は、県内企業のデジタル市場における競争力強化を目的として、デジタル化ツール、システムやロボットに係る製品開発に対して助成を行います。

1. 補助対象

(1) 補助対象事業

県内に事業所等を有する企業を対象に、ものづくり分野、農業分野、医療福祉分野などにおいて、現場のニーズを捉えた、課題解決に資する市場性の高いデジタル化ツール、システムやロボット（労働力不足の解消、作業の自動化・効率化、熟練技能者の技術伝承などに寄与する機器、システムやロボット）に関連する製品開発を支援します。製品開発については、事業期間内に製品または上市に向けたサンプル品の完成が見込まれる開発であること。ただし、可能性試験（Feasibility Study）としての開発については、事業完了後に製品化が見込まれる開発も対象とします。

(2) 補助対象者

- ① 単独の場合、福岡県ロボット・システム産業振興会議（以下「振興会議」という）会員（法人格を有していること）であり、かつ県内に研究、生産・活動拠点を有するものであること。
- ② グループの場合、全ての構成員は振興会議会員で構成されたものであり、かつグループのリーダーは県内に研究、生産・活動拠点を有する振興会議会員企業（法人格を有していること）であること。

※振興会議の入会（入会金、会費ともに無料）は、（<https://www.robot-system.jp/>）からお願いします。

(3) 補助対象経費

- ① 機械装置費、② 材料・消耗品費、③ 外注費、④ 旅費、
- ⑤ 開発に係る人件費（ソフトウェア開発、設計、加工等）、⑥ その他経費

※一般管理費は補助対象外

(4) 補助率・補助限度額

区分	補助率	補助限度額
可能性試験 (Feasibility Study)	1/2以内(※)	300万円程度
製品開発		700万円程度

ただし、グループの場合（交付要綱第4条（2）該当）で構成員に大学、公設試等が含まれる場合は、補助金の額の1/2を上限に、大学、公設試等の補助率を10/10以内とする。

(5) 事業期間

交付決定の日から令和5年2月28日まで

2. 応募方法

(1) **必要書類** ※事業提案書を財団ホームページより、ダウンロードして下さい。

<https://www.ist.or.jp/information-ja/>

(2) **提出期間**

令和4年4月20日(水)～令和4年5月27日(金)17時必着

(3) **提案書提出先**

下記の提出先に提案書(形式:PDF またはワード)と企業パンフレットの電子ファイルをメールにて送付してください。

- ・提案書原本(2部)
- ・決算報告書(直近1期)(2部)
- ・企業パンフレット(2部)

※送付後は、必ず、下記の電話番号に提案書を提出した旨をご連絡ください。

3. 採択予定件数

可能性試験 : 3件程度

製品開発 : 3件程度

※採択予定件数は目安であり、実際の採択件数は提案内容に応じて変動する場合があります。

4. 審査等

(1) 採択内定・不採択の結果は6月中旬頃にお知らせする予定です。

(2) 審査にあたっては、期日を示して各提案者から提案内容についてのヒアリング(令和4年6月上旬頃を予定)を行います。ヒアリングに対応できない場合は、不採択とさせていただきますので、ご対応ください。開催日は財団のHPに5月中旬頃にアップ致しますので、ご確認をお願いします。

(3) 採択内定を受けた研究グループについては、お示しする期日までに補助金交付申請書及び実施計画書を提出していただきます。

(4) 補助事業者が補助事業を実施したことにより相当の収益が発生したと認められた場合、交付した補助金の全部又は一部に相当する額を財団へ納付しなければなりません(交付要綱第21条参照)。

5. 公募説明会

公募説明会を以下の日程にて実施いたします。参加される方は、説明会前日の17時まで、下記のメールアドレス宛に会社名、所属、氏名、連絡先(e-mail)を明記し、お申し込み下さい。

- ・ 令和4年4月27日(水) 14時～15時 (Web開催)
- ・ 令和4年5月12日(木) 14時～15時 (Web開催)

《お問い合わせ・提案書提出先》

(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 ロボット・システム開発グループ(担当:周善寺、木村)

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3-8-33-105

TEL: 092-832-7155 E-mail: lsi-inove@ist.or.jp